



当院のAST活動について紹介します。みなさんASTをご存知でしょうか。

ASTとはAntimicrobial Stewardship Team「抗菌薬適正使用支援チーム」の略で、Antimicrobialは「抗菌薬（抗生物質）」、Stewardshipは「執事」を意味します。どの診療科でも避けて通れない感染症の診断や「抗菌薬」治療において、患者さんや担当医が安心して最適な感染症治療が行えるように陰ながらそと寄り添いサポートする、まるで「執事」のように仕事をしています。



チームにはどんな人たちがいるの？

感染症治療を得意とする医師、感染専任看護師、微生物検査技師、薬剤師、事務と多職種でチームを構成し、ICT（Infection Control Team「感染制御チーム」）と協力しながら感染症に関する全般的な仕事をしています。



左上から、
寄能看護師（ICT）、本間医師、森高医師、井上医師、山口事務職員
左下から、
篠原薬剤師、岩崎検査技師、上田看護師、宇都宮看護師、徳田医師

感染症に関するお仕事ってどんなこと？

具体的な業務内容として、血液、尿、痰などから検出された細菌に対して病原性の有無や治療の必要性について判断し、治療が必要な場合は抗菌薬の種類や治療期間のアドバイスをを行い、それ以外にも入院中や手術後の発熱など広く相談を受けています。

抗菌薬は、不必要な状況での使用や無駄な長期使用は

効果がないばかりでなく、副作用や薬の効かない耐性菌を生み出すリスクが高まることが医学的に証明されています。不適切な使用例の1つが、「風邪に抗菌薬」です。歴史的に感冒※に漫然と抗菌



▲細菌検査室にて、医師と微生物検査技師が細菌に染色して顕微鏡で観察している様子

薬が使用されてきた背景がありますが、感冒の原因は「ウイルス」であり、「細菌」に効果を示す抗菌薬は全く無効であり、抗菌薬による胃腸障害、下痢などの副作用が上乘せされます。

不適切な抗菌薬の使い過ぎによる「耐性菌」の増加は将来の感染症治療を脅かす国際問題となっており、日本は平成28年の伊勢志摩サミットで医療現場での抗菌薬使用量を具体的な数値目標をもって減らすことを公約として掲げました。全国の病院で広がるAST活動は、国策の1つとも言えますが、当院では以前から研修医教育などで抗菌薬適正使用の重要性を謳っており、長年培ってきた正しい感染症治療の基盤をよりしっかりしたものにしていき、院内外を問わず貢献したいと考えています。今後の当院AST活動に、ご理解とご協力をお願いします。

※鼻水や発熱などの症状を示す急性の呼吸器疾患。風邪ともいう。

AST 医師 井上考司・本間義人



▲ AST、ICT 定例会議



▲ 院内職員を対象とした感染対策研修

新しいPET-CT装置が稼動しました！

(平成31年1月より稼動)

PET-CT装置



PET-CTとは？

PET-CT は主にがんの検査に用いられ、がん細胞が正常の細胞よりブドウ糖を多く消費する性質を利用しています(図1の①)。FDG というブドウ糖に似た物質に微量の放射性同位元素(放射線を出すお薬)を加えたもの(図1の②)を注射し、PET-CT 装置で撮影します。すると、からだの中の FDG が多く集まるところがわかり、がんを発見することができます。PET-CT 装置では、PET と同時に CT を撮影することで正確にがんの位置を特定できます(図2)。

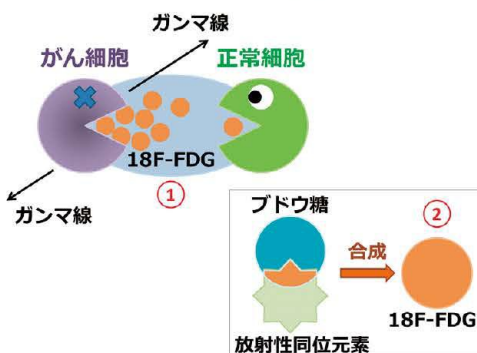


図1 がん細胞の性質

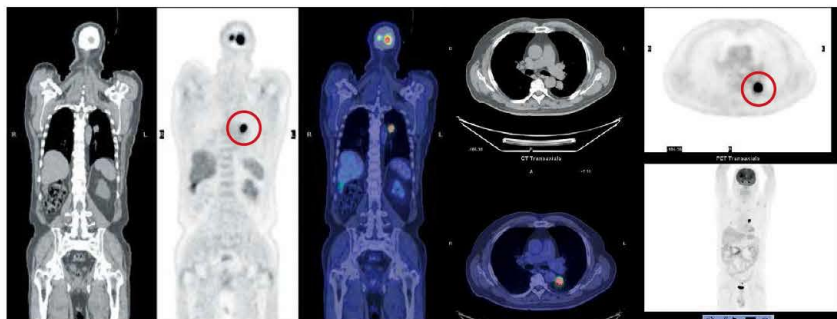


図2 FDG PET-CT 画像(肺がん)

PET-CTで心臓の検査ができる？

アンモニア(心臓に集まるお薬に放射性同位元素を加えたもの)を用いて、心臓に流れる血液の量をはかる検査も実施しています。心臓全体の血液の流れが低下している場合には、その状態を正確に把握することが難しかったのですが、アンモニアを用いることで可能となりました。さらに、冠動脈(心臓自身に栄養を供給する血管)のCTとアンモニアPETを重ね合わせた画像(図3)も作成でき、より正確に狭心症などの診断を行うことができます。

アンモニア PET を保険適用で実施するには国から認められた専用の施設が必要となり、保険適用で実施しているのは当院も含め全国で数施設しかありません。

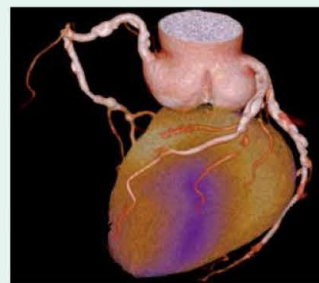


図3 冠動脈 CT 重ね合わせ画像

装置が新しくなってどうなったの？

☆撮影時間が短くなりました！

頭の前から太ももまでの撮影時間が約15分に短縮。(前の装置では約25分)

☆より早期に・正確にがんを発見！

前の装置では難しかった小さな病変の検出が可能。PETの撮影を呼吸のタイミングに合わせて行えます。

☆患者さんに優しい検査(被ばくの低減)！

検査薬の量を減らしても鮮明な画像を提供できます。CTが従来のおよそ半分のX線量で撮影できます。

診療科紹介 小児科

小児科は子どもをまるごと診る診療科です。骨折を治したり、おなかを切ったりすることはできません。しかし、子どもが何か具合が悪いという場合、私たち小児科医が対応し、原因を追究します。また、子どもの成長と家族をサポートしていく診療科です。

直接かかわる疾患としては感染症が多いのですが、気管支喘息による呼吸障害、けいれんや意識障害、アレルギーによるショックなど、ICUでの治療が必要な子どももいます。当科には、血液・腫瘍の病気、心臓の問題、甲状腺などの代謝内分泌の異常、てんかんなど神経・筋の病気、アトピーといったアレルギー疾患などの専門家がいますので、気になることがありましたらご相談ください。



小児科医師
後列左より、河本、中野、桑原、吉田、平井、地行(専攻医)
前列左より、山下(研修医)、徳田、石田、山本
※平成31年1月撮影

川崎病ってどんな病気？

日本赤十字社で小児科医をされていた川崎富作先生が1960年代に報告した、1～4歳の幼児に多く発症し、発熱を伴う疾患です。日本では、1年間で新たに約15,000人(愛媛県で約140人)発症しています。川崎市の公害病ではありません。図1のような症状に多く該当すると川崎病の疑いがあります。すぐに医療機関を受診しましょう。免疫が関係する疾患ですが、現在でも原因不明です。治療をしないと冠動脈瘤(図2)といった心臓の後遺症を残します。冠動脈瘤は心筋梗塞を発症し突然死を起こす危険性があります。現在は、血清蛋白質の一つであるガンマグロブリンを中心とした治療が確立され、効果がない場合でも他の追加治療があり、後遺症の発生率は3%前後に減ってきています。追加治療として当院では、免疫抑制剤であるシクロスポリンを主に使用し良好な治療成績を残しています。診断が難しい患者さんもありますが、早めの治療が有効です。

後遺症を残した場合は冠動脈がつまりやすくなるので、それを防ぐために血を固まりにくくする薬を内服します。冠動脈が狭くなった場合は、バイパス手術を行う場合もあります。お子さんの将来のためにも、保護者の方の早めの対応をお願いします。

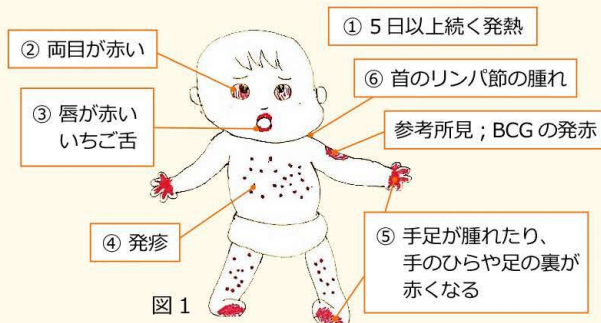


図1

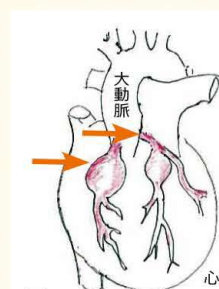


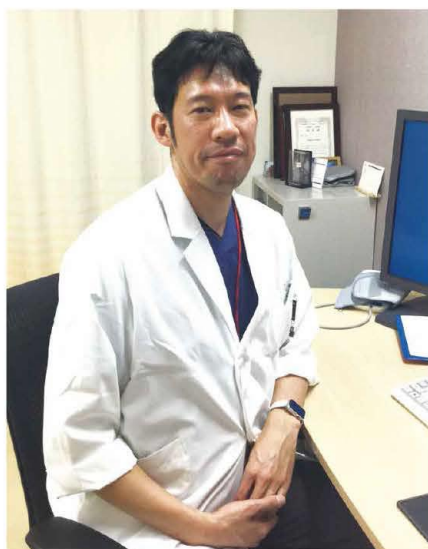
図2

当院の
ドクターを
紹介します

ドクターズカルテ

心臓血管外科 一色 真吾先生

Doctor's Karte



▲外来診察室

私は医師になってからの約9割の時間をこの病院で過ごし、県立中央病院に育てていただいた医師半生と思っています。そんなこの場所で、私は大動脈瘤治療や末梢血管の治療に携わり、中でも大動脈瘤のカテーテル治療に力を入れています。大きく切って治す時代から変革を遂げ、今は「最小の侵襲で最大の効果を」という理念のもと、診療に当たっております。



▲愛媛マラソン参加と子どもの成長

また、趣味とまでは言い難いですが、愛媛マラソンに一般ランナーや時には救命ランナーとして参加しています。愛媛マラソンは、沿道からの声援が約42km途切れない素晴らしい大会です。ここにも優しい県民性が表れていると思います。

これからも愛媛県の皆様に貢献できるよう、日々精進してまいります。



当院の
研修医を
紹介します

Resident

1 年次研修医
中平 真生先生

仕事以外の過ごし方は？

①料理：食べる方が好きですが、魚料理や和食を作れるようになりたいです。②ホットヨガ：深く呼吸を意識して筋肉を使うので、心身ともにリフレッシュします。今年はずっと運動がしたいです。③旅行：まとまった休みが取れたら、北陸旅行に行きたいです。④友人や家族との時間：住む距離は近くなくとも良き理解者で、大切な存在です。⑤英語：今年の5月に国際学会での症例発表に挑戦する予定のため、頑張っています。

興味関心があることは？

釣り・ダイビング：川育ちなので、海に馴染みがありませんが、興味を抱いています。余暇の楽しみに始めたいです。

今後の目標は何ですか？

2年間の研修は大変短く、もう半分が過ぎようとしています。色々な方に支えられているという感謝の気持ちを忘れずに、日々の学びを丁寧に吸収していけたらと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



▲呼吸器内科で気管支鏡をしているところ



▲卒業旅行で、大学の同期に案内してもらって北陸へ。(右側:本人)

リハビリテーション部では、患者さんの障がいを軽減したり、克服の支援が行えるよう、日々業務を行っています。
患者さんの身体機能の回復に最大限の努力を注ぎ、1日でも早く地域や自宅で生活が送れるようにサポートしています。



リハビリテーション部
部長 椿 崇仁 医師

理学療法士：PT (Physical Therapist)

理学療法とは、病気・けが・高齢・障がいなどによって運動機能が低下した状態にある患者さんに対し、運動機能の維持・改善を目的に行われる治療です。現在、22名の理学療法士が「寝返る」「起き上がる」「座る」「立ち上がる」「歩く」などの基本動作を獲得できるよう、患者さんと共に取り組んでいます。



作業療法士：OT (Occupational Therapist)

食べる、着替える、入浴するなど、生活をしていくのに必要なすべての生活行為を「作業」と呼んでいます。

現在、作業療法士7名が、病気やけがの直後から将来の生活を見越して、その時の症状に合わせて、手を中心とした機能練習を行っています。また、自助具や福祉用具などを使用したりして、食事動作練習、排泄動作練習も行います。そして身の回りの動作だけでなく、洗濯や掃除など家事動作の練習も行ったりします。



言語聴覚士：ST (Speech-Language-Hearing Therapist)



現在、4名の言語聴覚士が、様々な疾患によってコミュニケーション面に問題を抱えた患者さんや、摂食嚥下に問題が生じている患者さんへのリハビリテーションなどを行っています。

具体的には、失語症という脳の損傷によって言葉に問題が生じている患者さんに対して、言葉によるやり取りがスムーズに

成立するように介入を行ったり、口からの食事ができなくなった患者さんに対して口腔機能練習を行い、口から食べる喜びを再び味わっていただけるように支援をしています。



すべての医療スタッフと協力し、
患者さんに質の高い
充実したリハビリテーションを
提供できるように努力します！

医師転入・転出 (H31.1.31 ~ H31.3.1)



転入

所属	氏名	出身大学	卒業年度	専門
産婦人科	上野 愛実	愛媛大学	H26年	産婦人科一般

がん看護専門看護師を知っていますか？

当院でがん看護専門看護師として活躍している武田千津さんをご紹介します。がん看護専門看護師として、今年で12年目になります。

現在、緩和ケアチームとがん相談支援センターで相談員として、当院の通院・入院の有無にかかわらず、院内外のがん患者さん・ご家族、医療従事者からのがんに関する相談対応をしています。

全ての問題を解決できるわけではありませんが、共に考え、相談者の方が何らかの一步を踏み出せるような支援を心がけています。また、市民公開講座やみきゃんサロンの企画運営に携わり、患者さん・ご家族の療養に活かせるような情報・場の提供を行っています。

患者さん・ご家族だけで悩まず、がん相談支援センターを活用していただければと思います。



がん看護専門看護師
武田 千津

私からも一言！

すごく朗らかな方で、患者さんやご家族に対して真摯に向き合ってくれます。がんのことでお悩みのことがあれば気軽にご相談を。きっと貴方の力になってくれます。

内科医師より



▲診療棟 2 階 D 外来受付の隣

みきゃんサロンとは

毎月第2水曜日に開催しており、患者さんやご家族の皆さんが、様々な悩みや思いを語り分かち合い、情報交換をする場所です。

専門看護師とは

日本看護協会専門看護師認定審査に合格し、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識及び技術を深めた者をいいます。

専門看護師となるためには

看護師免許の取得はもちろん、日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の所定の単位を取得していることや、実務研修が5年以上あることなどが認定審査を受ける上での条件となっており、そのうえで、書類審査や筆記試験に合格した者が、専門看護師として認定されます。合格後は、専門看護師としての活動と自己研鑽の実績を重ね、5年ごとに資格の更新があります。



便利で安心、お客様の気持ちに一番近い存在を目指すファミリーマート愛媛県立中央病院店では豊富な品揃えをモットーに、「お弁当、おにぎり、サンドウィッチ等」全種類の品揃えを心がけております。また、お母さん食堂（香取慎吾でおなじみの手軽に夕食のお手伝いができるお惣菜コーナー）も大変好評です。

当店は病院内の利便施設として医療用品や入院雑貨、生花なども取り扱っており、院内外からのお客様に幅広くご利用いただいております。また、健康志向に合わせた食品（メディカルフーズ）も病院店ならではの取り揃えとなっています。四国初のセルフレジも導入されました。Tカード、電子マネー、クレジットカード等現金以外でのご利用となりますがスムーズなお買い物が可能です。是非ご利用ください。

常に、お客様のこころに響く『やさしい』を合言葉に、心のこもったサービスを提供して参ります。

◆その他の利便設備◆

- ・コンビニATM
- ・マルチコピー機（コピー・ファックス・写真プリント等）
- ・ファミポート（各種チケット・プリペイド等）
- ・自由に使えるセルフ電子レンジ

◆マルチメディア端末サービス◆

- ・公共料金支払・宅配便（配送・店頭受取等）



▲診療棟1階B外来受付の隣



▲惣菜 お母さん食堂



▲医療用品



▲メディカルフーズ



▲スタッフ



▲生花ショーケース

【営業時間】

年中無休 24 時間営業

医療安全への取り組み



新しい木々が寒さの中に暖かい春を予感し、芽吹いてくる3月です。

「がんばろう、愛媛」を合言葉に、みんなで愛媛を盛り立てていきましょう。

ところで、皆さんは病院の中で安全への取り組みとしてどんなことがされているかご存知でしょうか。わたしたちは、患者さんの安全を守るために様々な研修を行っています。例えば、医療安全の基本や、アンガーマネジメント（怒りのマネジメント）、新しい概念としてのチームステップス、失敗から学ぶ事例分析などです。また、患者さんと信頼関係を築いていくためのコミュニケーションスキルを磨くことも行っています。わたしたちは、患者さんにとっての安全・安心とは何かを常に考えております。時には不手際があり、不愉快な思いをさせてしまう事や

患者さんの思いをくみ取れていない発言をすることがあるかもしれません。その際には、ご意見やご助言をいただくと助かります。病院職員一丸となってこれからも日々努力し、病院のあるべき姿を考えながら、前向きに患者さんの安全を追求していく所存です。よろしくお願い致します。

結びとなりますが、3月は卒業の季節です。「医療安全管理部だより」もわたしが担当して9年間、掲載させていただきました。少しでも医療安全に関する情報が提供できればという思いで執筆してまいりましたが、今回で卒業です。次回からは新しい担当になります。読んでいただいた方々には感謝の思いでいっぱいです。有難うございました。



医療安全管理部 森山 昭子

医療安全
管理部だより
No.38

連携医療機関紹介 ～第13回～

医療法人 宇佐美消化器クリニック

- 所在地 松山市和泉南1丁目5-7
- TEL 089-905-2050 ■FAX 089-905-2082
- 診療科目 消化器科、内視鏡内科、内科
- 外来診療時間 休診日 水曜・日曜・祝日・土曜午後
(※検査予約の方は、この限りではありません。)

	月	火	水	木	金	土	日
9:30～11:00	○	○	×	○	○	○	×
16:30～18:00	○	○	×	○	○	×	×

【病院の特徴】30歳台の大半を過ごした県立中央病院時代は、消化管疾患の内視鏡治療に明け暮れた毎日、臨床医として、また消化器内視鏡医として育てていただきました。平成14年に県立中央病院から一本道のはなみずき通りに診療所を開設しました。

当施設は年間約4,500件前後の上部（食道、胃、十二指腸）・下部（小腸・大腸・肛門）消化管内視鏡検査件数をこなす消化器内視鏡専門施設の特徴を持っています。消化管がんとの診断または疑いのある患者さんの大半は県立中央病院に治療をお願いしており、それ以外の急性腹痛や他科疾患の紹介もお願いしています。

【病院の概要】毎日の診療は内視鏡検査が中心となり、外来診察時間は1日3時間程に絞っていますが、常日頃肝に銘じていることは「決して内視鏡検診センターに成り下がらないこと、患者さんを広い視野で診られるごく当たり前の臨床内科医であること」です。

今後も消化器診療を通じて、地域医療に貢献できるよう地道に努力してゆく所存です。



みねおい内科・循環器内科

- 所在地 松山市生石町472
- TEL 089-932-1202 ■FAX 089-932-1203
- 診療科目 内科 循環器内科
- 外来診療時間 休診日 日曜・祝日・木曜午後

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	×
14:00～18:00 14:00～16:00（土のみ）	○	○	○	×	○	○	×

【病院の特徴】地域医療の窓口として、内科や循環器内科の診療を行っており、県立中央病院などの基幹病院と連携しています。

【病院の概要】平成24年4月に旧空港通りの生石町に開院しました。風邪やインフルエンザ、生活習慣病といった内科の疾患全般や老年病、心臓や血管に関する循環器疾患など、幅広く対応しています。特に循環器内科では、狭心症、心不全、不整脈など循環器疾患の原因になる生活習慣病（高血圧・高脂血症・糖尿病）の治療、禁煙外来、睡眠時無呼吸症候群の診断・治療に力を入れています。また心臓リハビリテーションも行っており、循環器疾患を予防→診断→治療/連携→心臓リハビリといった一連の流れで診よう心がけています。日常診療では、患者さんの症状や希望に応じて、生活や年齢を考慮した治療・生活習慣の指導を行っています。



当院は、平成22年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。

このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随時ご紹介させていただきます。（紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。）

